

「ふるさと教育」の推進 ～小中一貫教育で目指す「厚真の未来を語れる子」の育成～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
厚真町立 上厚真小学校	厚南地区学校運営協議会 平成29年12月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 2名 1名	あつまるねっと
厚真町立 厚南中学校	厚南地区学校運営協議会 平成29年12月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 2名 1名	あつまるねっと



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震以降、町民同士の日常的なつながりづくりを一層意識した教育活動を展開してきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響によって、学校と地域住民が顔を合わせて取り組む活動が徐々に減少傾向にあり、ますます関係性の希薄化が見られるようになった。そのような中、「ふるさと教育」を柱として、学校運営協議会の中での活発な意見交換等を通して、学校と地域の連携・協働を推進している。

目標や目指す姿(学校)

厚真の未来を語れる子

目標や目指す姿(地域)

ふるさとを愛し未来に向かってたくましく生きる人材の育成



厚南地区学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 学識経験者(こども園園長) | <input type="checkbox"/> 住民団体関係者 |
| <input type="checkbox"/> 放課後児童クラブ関係者 | <input type="checkbox"/> スポーツ少年団連絡協議会関係者 |
| <input type="checkbox"/> 保護者・地域 | <input type="checkbox"/> 自治会関係者 |
| <input type="checkbox"/> PTA関係者 | など、計 12名 で構成 |
| <input type="checkbox"/> 地域おこし協力隊 | 年間平均 4回 程度開催 |

効果的な運営の工夫

学校運営協議会設置当初は、学校からの報告事項がメインであり、学校と地域の活発な意見交換が少なく、委員が当事者意識をもって会に参加することが少なかった。そのため、令和3年度以降、委員を少人数グループに分けてブレインストーミングなど、付箋を用いたワークショップを導入することで、活発な意見交換の場を目指した。

また、学校運営協議会の中で出された意見を具体的に実現するために、委員が中心となって町民を巻き込み、学校と地域住民が連携・協働した新たな教育活動の創出を行っている。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

「厚真の未来を語れる子」という小中一貫教育で目指す15歳の姿について、学校や教育委員会だけではなく、地域住民とも具体的なイメージを共有する必要があるため、少人数グループで付箋を用いたワークショップを実施するなど、より具体的な15歳の姿をイメージできるよう意見交換を工夫した。



ワークショップの様子

地域学校協働活動

「あつまるねっと」により地域人材が講師となり、総合的な学習の時間等を活用して、町の特徴的なスポーツであるサーフィン、地元食材を活用した弁当の開発・販売、森林環境等について学ぶ授業や、PR動画による厚真町の魅力を発信する授業など「ふるさと教育」を行っている。



サーフィンの授業

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

【地域コーディネーターと学校運営協議会の工夫】

地域コーディネーターが学校運営協議会に出席し、必要な情報を地域に伝えたり、地域の要望を学校に伝えたりして、「ふるさと教育」の推進につなげている。また、学校運営協議会が情報共有の場や意見交換の場に終始しないよう、①情報共有、②意見交換、③次へのアクションというスモールステップで、学校と地域がお互いに協働で取り組むパートナーシップを意識している。

【企画・調整】

町教委指導主事、社会教育主事、ふるさと教育推進コーディネーター等が学校と地域のつなぎ役を担っている。

取組

成果・効果

【ふるさと教育の成果・効果】

- ◆子どもたちは、自ら課題をもち、ふるさと(厚真町)について調べ、まとめ、よさを発信するという探究的な活動を進めることにより、ふるさとに対する興味・関心を高めたり、理解を深めたりすることができた。
- ◆地域住民は、「ふるさと教育」の活動等で子どもたちを指導する機会が増えたことにより、ふるさとに対する誇りや愛着を再確認するとともに、自己有用感を高め、生きがいや喜びを感じるようになった。
- ◆地域コーディネーターが、「あつまるねっと」に参画する地域住民をコーディネートし、学校の教育活動につなげる役割を担うことにより、学校の教育活動が充実するとともに、教職員の業務が軽減された。

【地域学校協働活動に関する実績】

登録人数:R3年度112人、R4年度140人(8月末現在)、町民ボランティア参加人数(延べ):R3年度74人、R4年度23人(8月末現在)